

ラウンドテーブルの実施状況について

目的

地域課題の解決を図るため、対話による意見交換の場、気付き・学びの場となるラウンドテーブルを実施し、各主体の関わりを生み出しながら課題解決の対応策や協働事業の実現を目指す。

委託契約について

委託先：しがNPOセンター

委託料：165万円 ※協働のまちづくり推進支援業務として市や団体への助言等も含めた業務

年間スケジュール

第1回	6月20日	午前	ゆったり♥ トーク～まちに目を向けてみよう～
第2回	7月15日	午後	ボランティア活動を広げたい～福祉活動ごちゃまぜマッチング～
第3回	8月28日	午後	身の周りのデジタル化から世代間をこえて交流しよう ※日曜開催
第4回	10月 3日	午前	草津の子ども・若者について考えよう ～気になることや情報を出し合おう～
第5回	11月28日	夜間	知って得する情報あるかも！？ ～あなたの活動にマッチしたICTサポートツールを見つけよう～
第6回	12月19日	午前	草津の子ども・若者について考えよう ～だれもが生き生きと心地よく過ごせる場所やしくみを提案しよう～
第7回	2月17日	夜間	知って得する情報あるかも！？ ～みんなの活動をより便利にするために ICT活用・スキルアップのしかけを考えよう～

- ・1～3回はStep1（課題の共有）
- ・4～7回はStep1～Step2（課題解決のための事業提案）

実施済分の実績

○第1回 参加者21人

- ・「防災意識」と「近所付き合い」をテーマに2グループでワークを実施。
- ・防災を切り口として、障害福祉、高齢社会、地域づくり等に話が広がった。防災訓練の手法変更について等具体的なアイデアも出ていた。
- ・近所付き合いのグループは人数が多く、議論が深まりにくかったが、様々な意見を聞くことでそれぞれが自分の地域について考えることができた。

○第2回 参加者25人

- ・健康福祉政策課が提案した企画。市社協と連携し、社協の福祉教養大学卒業生とキラリエサポーターのマッチングを期待したが、社協からの呼びかけでの参加者が3名程度に留まった。
- ・参加者同士が互いの活動を知る、交流の要素が大きい結果となった。

○第3回 参加者21人

・町内会のデジタル化（回覧等）についての意見等、具体的な提案につながりやすい意見が多かった。

・今年度唯一の日曜開催であったが、継続して参加されている方が半分以上であり、メンバーの固定化がみられる。（話題によってはまち協への案内促進を検討）

○第4回 参加者15人（子ども家庭若者課2名、地域保健課2名参加）

・昨今、子ども、若者を取り巻く課題（ひきこもりやヤングケアラー等）について気になる事や情報を出し合うことができた。

・子ども、若者に関わる市民活動団体にも多数参加していただき、現状等の現場の声を聴くことができた。

○第5回 参加者25人（経営戦略課1名参加）

・まちづくり協議会への案内促進を行ったため、まちづくり協議会からの参加があった。（草津学区3名、大路学区3名、山田学区2名、南笠東学区1名）

・市民活動団体からは、自分たちの活動を広く知らせたい。町内会やまちづくり協議会からはICTを利活用した事務の簡素化の意見が多かった。

○第6回 参加者24人（子ども家庭若者課1名、地域保健課3名参加）

・第5回から引き続き、「子ども・若者」について「つながりと孤独、ヤングケアラー」「子どもの成長に伴う悩み、未就園親子の孤立」「子どもと若者の危機管理能力、子どもの体験」「不登校ひきこもり」の4つのグループに分かれ話し合ってもらった。

・前回に引き続いて、子ども、若者に関わる市民活動団体にも多数参加していただき、団体でできることの棚卸等を行いマッチングに繋がるような場になった。

Step3 マッチングテーブルについて

・令和4年7月からStep3 マッチングテーブルの募集開始。令和3年度は未実施。

・Step2で提案された内容に限定し、提案内容を実現したい団体が市に応募する。

・Step3では、応募団体、市、協働相手等の関係者だけで集まり、提案内容の実現に向けた個別具体の協議を行う。

・協議の結果、予算面、体制面等の問題で実現が困難と判断する場合もある。